

2003年12月18日

参天製薬とジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケア 医療用眼科薬の米国販売で提携

参天製薬株式会社（本社：大阪市）は、本日、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケア・インク（Johnson & Johnson Vision Care, Inc.（以下 JJVCI）；本社：米国フロリダ州ジャクソンビル）と、米国における医療用眼科薬の販売に関する契約を締結しました。この契約により、JJVCI は、独占的販売代理店として米国で当社の「クイクシン®」（レボフロキサシン点眼液）、「ベチモール®」（チモール 1/2 水和物点眼液）、「アラマスト®」（ペミロラストカリウム点眼液）の販売を行うこととなります。本日以降、両社は販売活動の移管準備に取り掛かり、2004年3月15日までに JJVCI による販売活動を開始します。

また、JJVCI は、当社が米国食品医薬品局（FDA）に申請中で 2004 年に承認予定の「レボフロキサシン 1.5% 点眼液」についても、米国での販売を行うこととなります。なお、当社は引き続き、これら 4 製品に関わる製造、臨床試験ならびに薬事関連業務を担当します。

参天製薬社長の森田隆和は次のように述べています。「ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケアとこのように提携したことを嬉しく思います。参天製薬の優れた既存製品に、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケアの販売・マーケティングのノウハウが加わることにより、両社が米国眼科薬市場でより効率的・効果的な成長を実現することができると確信しています」

JJVCI は今後、参天製薬の米国子会社サンテン・インクの現在の販売組織を中心に、新たに眼科薬の販売網を構築する予定です。これにより、JJVCI はサンテン・インクがこれまでに築いてきた米国眼科医との良好な関係を引き継ぐことができます。JJVCI は、「アキュビュー®」ブランドを始めとする使い捨てコンタクトレンズの製造・販売を世界的に展開する会社です。

参天製薬は過去 5 年間に米国で「クイクシン」「アラマスト」「レボフロキサシン 1.5% 点眼液」の 3 製品の承認申請を行うなど、研究開発領域で際立った実績があります。最近申請した「レボフロキサシン 1.5% 点眼液」は防腐剤を含まない高濃度のニューキノロン系抗菌点眼剤です。参天製薬が現在米国で開発中の緑内障・ドライアイ領域の製剤は、今回の提携の対象外です。

参天製薬は、第一製薬株式会社からレボフロキサシン、三菱ウェルファーマ株式会社からペミロラストカリウムの眼科用製剤のライセンスを得ています。

参天製薬は眼科とリウマチに特化した独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・増進に貢献しています。売上高の約 80%を占める医療用眼科薬では、あらゆる眼科疾患に対する優れた医薬品の創製と医療現場のニーズに即した情報提供に取り組み、国内 No.1 の地位を獲得しています。

以上